

土木学会木材工学委員会が「ウッドデザイン賞 2019」を受賞

「ウッドデザイン賞」は木の良さや価値を再発見させる製品や取組について、特に優れたものを消費者目線で表彰し、木材利用を促進する顕彰制度です。建築、木製品、コミュニケーション、技術・研究など木材利用促進につながるすべてのモノ・コトを応募対象としています。本制度は 2015 年度から林野庁の補助事業として始まり 5 回目を迎えた今年、土木学会木材工学委員会は、「ウッドデザイン賞 2019」に応募し入賞しました。

表彰部門は、ライフスタイル、ハートフル、ソーシャルの 3 つのデザイン部門からなり、本委員会は、ソーシャルデザイン部門において受賞しました。地球温暖化対策として木材の持つ可能性が注目されている中、土木における木材利用の点から検証、利用拡大を考える社会性の高い活動として評価されました。2019 年 12 月 5 日～7 日に東京ビッグサイトで開催された「エコプロ 2019」にて受賞作品が展示され表彰が行われました。

ウッドデザイン賞 2019

<https://www.wooddesign.jp/>



ウッドデザイン賞受賞
JAPAN WOOD DESIGN
AWARD 2019

ソーシャル | 普及・啓発(システム)

入賞16

公益社団法人 土木学会 木材工学委員会

(公社) 土木学会 木材工学委員会(東京)



【費用/体験・入手方法(連絡先)】土木学会木材工学委員会の活動にご興味のある方は下記までご連絡。東京都新宿区四谷一丁目 外濠公園内 公益社団法人土木学会 tel.03-3355-3441(代)

概要 土木学会木材工学委員会の活動内容は、森林資源の活用法、木材の土木分野における利用拡大、新しい木製土木構造物の開発、地球環境問題への対応等の諸問題の調査・研究、学際的研究の推進、普及教育活動、マニュアル・指針の整備など多岐にわたる。約100名の委員が7つの小委員会に分かれて取り組んでいる。

評価ポイント 地球温暖化対策として木材の持つ可能性が注目されている。土木における木材利用の点から検証、利用拡大を考える社会性の高い活動である。産官学のメンバー約100名が調査研究に取り組み、提言も行う。地域ごとの土木における木材利用拡大検討の取組も期待が大きい。

ウッドデザイン賞 2019 入賞作品集での土木学会木材工学委員会の紹介



JAPAN WOOD DESIGN
AWARD 2019

ウッドデザイン賞 2019

下記の作品は、消費者目線での新たな木づかいを促進する
ウッドデザイン賞に入賞いたしましたので、これを表彰します。

ソーシャルデザイン部門
公益社団法人土木学会 木材工学委員会
公益社団法人土木学会 木材工学委員会

2019年12月5日
ウッドデザイン賞運営事務局



ウッドデザイン賞 2019 表彰状



12月6日「エコプロ 2019」会場内「ウッドデザイン賞 2019」ブースにて（右から三村幹事、吉田委員長、池田幹事）